佐渡市立河原田小学校　　令和５年度　第５号

河小だより

校区内
全戸回覧

７月 24 日発行

自然体験教室から生成 AI を考える

校長　　野上　孝

写真は、７月６、７日に５年生が自然体験学習に行った活動の一部です。天候にも恵まれ、自然の中でたくさんの経験ができました。

今の世の中、お金さえ出せばほとんどの物が手に入り、楽ができる時代なのに、テント張りや野外炊事、一夜干しするめづくりや釣りなど、なぜ、わざわざこんな面倒なことをやるのか。なぜ、不自由な世界を経験するのか。その答えは、子どもたちが確かに出してくれていました。

まず、テント張り。当日は風があり、すんなりとは張れませでした。すると、声を掛ける子が出ます。指示に従って協力する子が出ます。アイデア・工夫をする子が出ます。同じことは野外炊事でも一夜干しづくりでも釣りでも見られました。声を掛ける、協力する。そうしているうちに自然と経験値がアップするのです。人との関わりや協力が生まれるのです。頭を働かせるのです。たった１日半でしたが、子どもたちからゲームの話などはまったく聞こえず、目の前の活動、非日常的な世界を存分に楽しんでいるだけでした。聞けば、子どもたちにとっては初めての活動ばかりだったそうです。豊かな心を耕すにもとても有効なひととき、体験でした。

昨今、「生成 AI」が加速度的に普及しています。文科省も学校指針を公表しました。「チャット GPT」などもこれからどんどん進化して使われていくことと思います。ただ、今の時点で小学生が使うケースはまだ一部かと思われますが・・・。メリットや有効な活用方法、逆にデメリットや心配されることもどんどん明らかになっていくことでしょう。いずれにしても、今の時代に携帯やスマホが当たり前に使われるようになったように、この生成 AI ももう後戻りすることはないと思われます。

＊＊

事実や自然に学び、自分の頭で考え、工夫し、創造する。小学生としてそんな営みが重要なことを自然体験学習での子どもたちが教えてくれ、考えさせられました。

さて、明日から夏休み。１学期間、本当にありがとうございました。子どもたちにとって事故がなく、自分で考え行動し、体験いっぱい、感動いっぱいの夏休みになりますように、よろしくお願いいたします。